



保証書付

ハイバックガード洗面器

L-A955系 L-A951系

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき

誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、

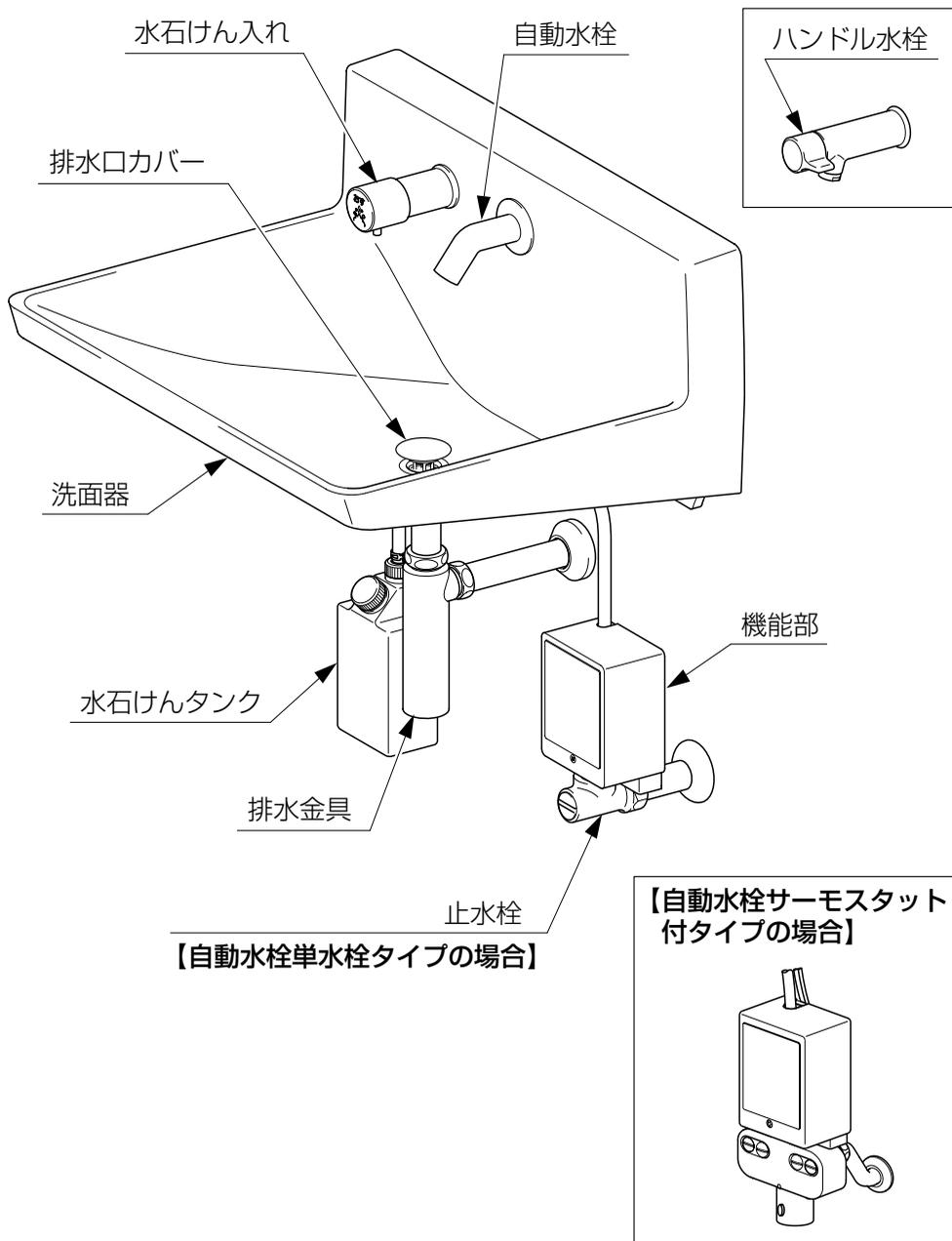
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

もくじ

各部の名称	2
安全上のご注意	3
ご使用前に	9
ご使用方法	11
水石けんの補給方法	12
凍結の恐れがある場合	13
専用リチウム電池の交換について	13
日常のお手入れ	16
定期的なお手入れ	21
定期的な部品交換のお願い	25
修理を依頼される前に	26
水栓仕様	29
アフターサービスについて	30
保証書	31

●各部の名称



※ご使用いただく水栓は上記イラストと外観が異なる場合があります。
※寒冷地用は「凍結の恐れがある場合」の項を参照ください。

●安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みなされた後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



…… 「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



禁止

…… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



分解禁止

…… 「分解してはいけません！」



接触禁止

…… 「指示した場所には触れてはいけません！」



指示実行

…… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

警告：ヤケドをしないために



禁止

小さいお子さまだけの使用は避けてください。
※ヤケドやケガをする恐れがあります。



禁止

通水温度は45℃以上にしないでください。なお、誤動作などによるヤケド防止のため、40℃以下をおすすめします。
※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。

⚠ 警告：ヤケドをしないために

 禁止	<p>【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】 給湯機器の温度設定は85℃以上にしないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。なお、誤動作などによるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。</p>
 指示実行	<p>【自動水栓の場合】 ストレーナーの掃除をする際は、いきなりストレーナーを緩めずに止水栓を閉めてから行ってください。(P.21参照) ※閉じずに作業を行うと湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。</p>
 指示実行	<p>【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】 温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐出してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>
 指示実行	<p>【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】 温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ゆっくり回してください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>
 禁止	<p>他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。 ※同時使用のないように注意しないと、ヤケドをする恐れがあります。</p>
 指示実行	<p>お使いになる前に、必ず適温であることを確かめてください。 ※高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。</p>
 指示実行	<p>高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、しばらく水を流してください。 ※次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。 ※次の使用者が誤って高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。</p>
 指示実行	<p>定期的に、配管の漏水やガタつきがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。</p>
 指示実行	<p>【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】 給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。 ※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。</p>

 警告：発火、感電防止のために【自動水栓の場合】	
 禁止	<p>電源プラグを濡れた手で触れないでください。 ※感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしないでください。 ※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差込がゆるいときは使用しないでください。 ※発火、ショート、感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>水につけたり、水をかけないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>交流100V（50/60Hz）以外では使用しないでください。 ※発火、ショート、感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>雷が発生しているときは、電源プラグにさわらないでください。 ※感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>電源プラグについたホコリは、取り除いてください。 ※電源プラグについたホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</p>
 禁止	<p>電源コードと他のコードを一緒に束ねないでください。 ※発火、ショート、感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>水道水および飲料可能な井戸水以外は使用しないでください。 ※商品の内部腐食により、発火、ショート、感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウエットティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の原因になります。</p>

⚠ 警告：発火、感電防止のために【自動水栓の場合】	
 分解禁止	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※発火、感電したり、異常動作してケガをすることがあります。
 水場禁止	バスルーム等の水がかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の原因になります。
 指示実行	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 ※発火、ショート、感電の原因になります。
 指示実行	水栓が故障した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。 ※そのまま使用すると発火、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意：正しくお使いいただくために	
 禁止	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因になります。
 禁止	【自動水栓の場合】 吐水口をふさいだ状態での使用はおやめください。 ※吐水口部から水が浸入し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
 指示実行	【自動水栓の場合】 感知領域内に障害物が入らないようにしてください。 ※誤動作し、予期しない事故の原因になります。
 指示実行	【自動水栓の場合】 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。 ※誤動作や故障などによる、予想しない事故の原因になります。
 指示実行	【自動水栓の場合】 直射日光の当たる場所での使用はおやめください。 ※誤動作や故障などによる、予想しない事故の原因になります。

⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 指示実行	<p>【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】 月1回は、温度調節ハンドルを回してください。 ※温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれる恐れがあります。</p>
 指示実行	<p>メッキ面のハガレはそのまま放置しないでください。 ※メッキ面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。</p>
 禁止	<p>吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけたりしないでください。 ※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因になります。</p>
 禁止	<p>洗面器の上に乗ったり重いものを乗せたりしないでください。 ※変形や破損してケガをする恐れがあります。</p>
 接触禁止	<p>洗面器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。 ※破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。</p>
 禁止	<p>商品が破損したり、ガタついたり、あるいは取り付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。 すぐにお取り替えや修理依頼してください。 ※落下の恐れや破損部位でケガをする恐れがあります。</p>
 禁止	<p>ぶら下がったり、体重を掛けたりしないでください。 ※破損し、ケガをする恐れがあります。</p>
 禁止	<p>洗面器に熱湯等をかけないでください。 ※破損の恐れがあります。</p>
 指示実行	<p>陶器は割れ物です。 ●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。 ●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。 ※破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。</p>
 指示実行	<p>オーバーフロー穴はありません。あふれ防止のため、吐水中はその場を離れないでください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生 of 恐れがあります。</p>

⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 禁止	<p>陶器のお手入れには、次の洗剤を使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 強いアルカリ性洗剤、フッ素系洗剤、研磨剤入りの洗剤 ※陶器表面を傷つけてしまいます。• 撥水作用や表面コート作用のある洗剤、お掃除道具 ※陶器表面を成分が覆ってしまい防汚性能が発揮できなくなります
 指示実行	<p>【ハンドル水栓の場合】 レバーハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、お止めください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
 指示実行	<p>【ハンドル水栓の場合】 レバーハンドルを操作するときは、ゆっくり動かしてください。 ※急に操作すると音が出たり、吐出温度が急に変わります。 ※急な操作を行うと、洗面器の外へ水が飛び出る恐れがあります。</p>
 分解禁止	<p>修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損のおそれがあります。</p>
 禁止	<p>【水石けん付の場合】 押しボタンを回転させないでください。 ※押しボタンが正常に作動しません。誤って回転させた場合は、正常な押しボタンの位置に戻してください。</p>
 禁止	<p>【水石けん付の場合】 水石けん容器に強い力や衝撃を与えないでください。 ※袋ナット、水石けん容器が破損し、水石けん容器の落下の原因になります。</p>
 禁止	<p>【水石けん付の場合】 吐出口や押しボタンに強い力や衝撃を与えないでください。 ※故障や液漏れの原因になります。</p>

●ご使用前に

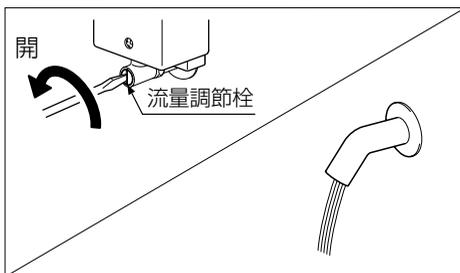
●流量の調節

【自動水栓の場合】

流量調節栓を逆時計回りいっぱい
に回し、流量を全開にします。

ポイント

節水のため定流量弁を内蔵して
いますので、一定以上の流量（約
3L/分以上）は出ません。

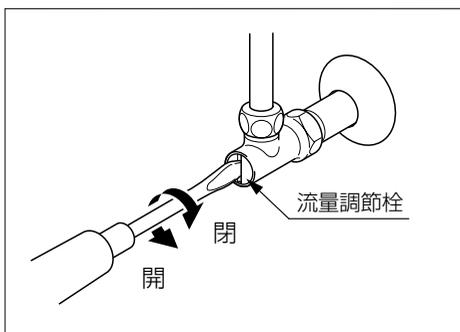


【ハンドル水栓の場合】

水栓ハンドルを全開にした状態で流
量調節栓を調節し、吐水量を調節す
る。

ポイント

流量の目安は1Lの容器をいっば
いにするのに約12秒～15秒です。



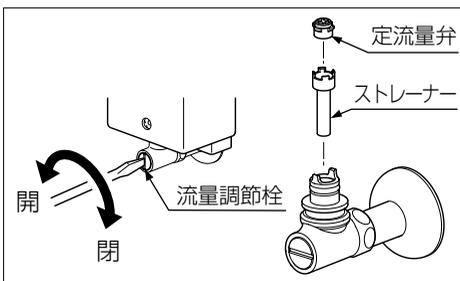
●流量が不足している場合の調節

【自動水栓単水栓タイプの場合】

1. 低圧現場または減圧弁付きの
電気温水器と組み合わせる場
合は、定流量弁を取り外して
ください。
2. 定流量弁を取り外したあと、
流量の調節を行ってください。

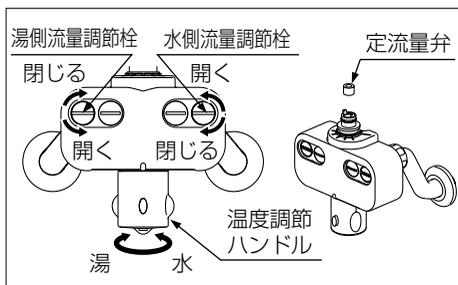
ポイント

流量の目安は1Lの容器をいっば
いにするのに約20秒～30秒です。



【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】

1. 低圧現場または減圧弁付きの電気温水器と組み合わせる場合は、定流量弁を取り外してください。
2. 定流量弁を取り外したあと、温度調節ハンドルを水側いっぱいまで回し、吐水流量を確認しながらマイナスドライバーで水側の流量調節栓を調節します。その後、温度調節ハンドルを湯側いっぱいまで回し、湯側の流量を確認しながら湯側の流量調節栓を調節します。



ポイント

流量の目安は1Lの容器をいっぱいにするのに約20秒～30秒です。

【自動水栓の場合】

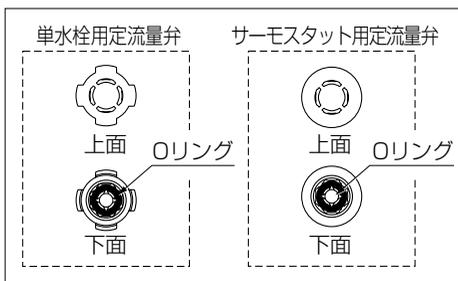
●定流量弁の取付け

定流量弁を取り外した後、再度取り付ける場合は、黒いOリングが見える面を下に向けて取り付けてください。

注意

上下の向きを正しく取り付けてください。

※上下を誤って取り付けると、流量が多くなったり、Oリングが外れ弁に詰まることで止水不良になる恐れがあります。



減圧弁付きの電気温水器と組み合わせる場合は、必ず定流量弁を取り外して流量調節をしてください。

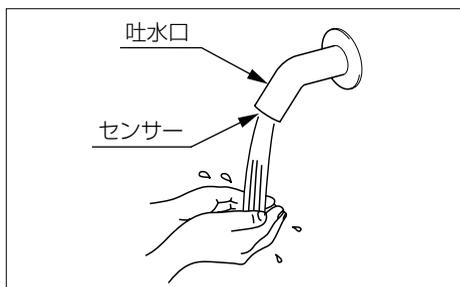
※取り付けたままだと湯の流量が不足します。

●ご使用方法

【自動水栓の場合】

●センサーによる自動吐水

吐水口の下に手を差し出すとセンサーが感知し吐水します。手を引くと約1～2秒後に止まります。



ポイント

- 1分間吐水が続くと自動的に止水します。再び吐水させたいときは、一度手を引き、再び手を差し出します。
- センサーは、光を透過してしまうガラスなどでできたコップや花瓶などを感知できません。
- 感知物の色や形によっては感知しにくいことがあります。

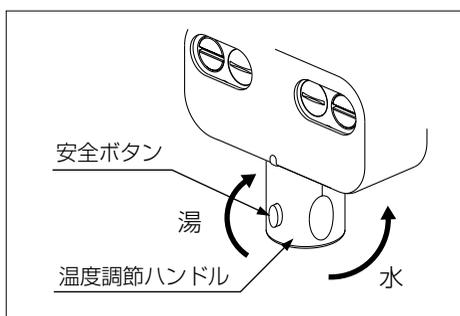
【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】

●温度の調節

温度調節ハンドルを左に回すと高温（最高約50℃）に、右に回すと低温（水温）になります。

ポイント

安全ボタンの働きで高温側に回すと「40」の表示のところまで一度温度調節ハンドルが止まります。40℃以上の吐水温度が必要な場合は安全ボタンを押しながら回してください。



【ハンドル水栓の場合】

●水栓の操作

レバーハンドルを左に回すと吐水し、右に回すと止水します。



【水石けん付の場合】

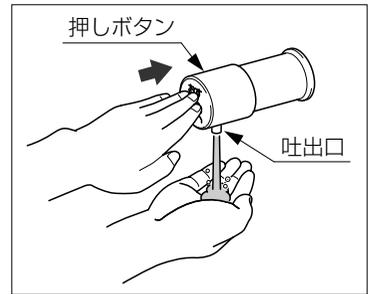
●水石けんの吐出と停止

押しボタンを押すと水石けんが吐出します。

注意

吐出口をふさいだり、吐出口をのぞきこんだりしないでください。

※万一、目に入った場合は、すぐに多量の水で洗ったあと、すみやかに医師の診察を受けてください。



●水石けんの補給方法

●使用可能な水石けん液は、弊社ホームページをご確認ください。



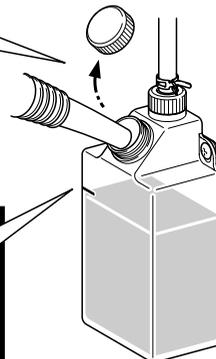
- 使用可能な水石けん液以外のものを使用されますと故障の原因になります。
- 使用可能な水石けん液以外のものを使用され不具合が発生した場合当社として責任を負いかねます。
- クレゾール等の消毒液は使用しないでください。故障の原因になります。
- あらかじめ薄めた水石けん原液を先に入れてください。
水石けん原液を先に入れ、後から水を入れると、吐出しなくなることがあります。
- 水石けんを補給する容器はきれいなものを使用してください。洗剤の容器等を使用すると、故障の原因になります。
- 推奨比率と異なる比率の液を使用しないでください。吐出しなくなることがあります。
- ゴミや異物が入った水で水石けんを薄めないでください。詰まり、故障の原因になります。

フタを外して、希釈した水石けんを補給する。

注意

満水のラインを超えないように補給してください。

※水石けんがあふれる可能性があります。



●凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。

凍結が予想される場合は、水栓や水石けん入れ周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

【自動水栓アクエナジー式の場合】

●専用リチウム電池の交換について

●発電のしくみ

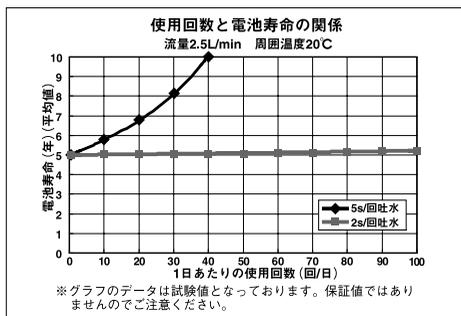
内蔵された発電機により、使用時の水の運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。この電気エネルギーはコンデンサに蓄えられ、水栓の作動エネルギーとして使用されます。

●使用頻度と専用リチウム電池寿命の関係

使用頻度によっては、発電量より消費電力の方が多くなり、専用リチウム電池の寿命が短くなる場合があります。

※専用リチウム電池の保証期間は、2年間です。

※専用リチウム電池は必ず接続してください。接続しないと夜間等の長時間使用しない場合において、吐水しなくなる可能性があります。



●専用リチウム電池交換のお知らせ

センサーを感知させても吐水しない場合は電池切れの恐れがあります。

(電池交換確認方法)

センサーを感知させた後、吐水口のセンサーの発光側をご確認ください。4秒に1回の周期で赤色点滅している場合は電池交換が必要です。センサー感知後の赤色点滅は電池切れ後、約1週間続きます。



専用リチウム電池のお求めはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。

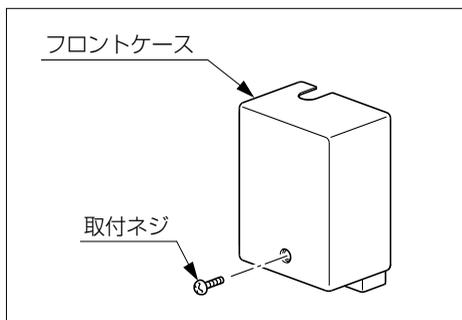
※交換用の専用リチウム電池 (A-4305) は有償となります。

●専用リチウム電池交換

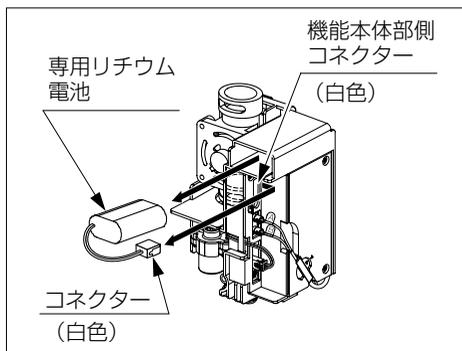
1. プラスドライバーで機能本体部前面のネジを外し、フロントケースを外します。

※内部に水が入らないように注意してください。

※取付ネジは専用のものですので、必ず付属のものをご使用ください。

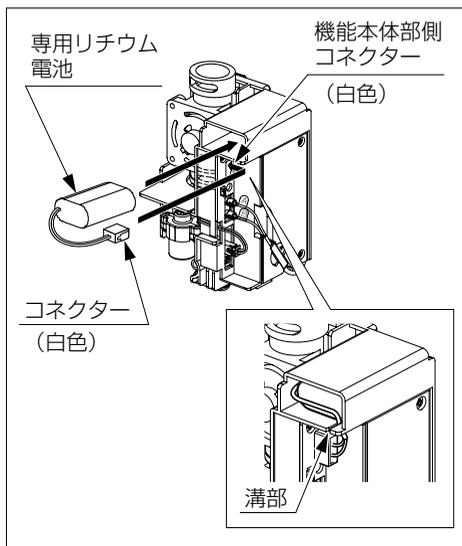


2. 縦に4つ並んでいるコネクタの一番上のコネクタを抜き、専用リチウム電池を外します。

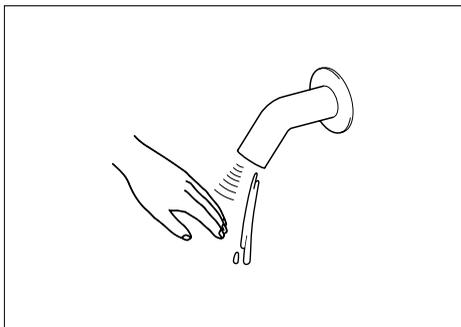


3. 新しい専用リチウム電池を取り付け、コネクタを差し込みます。

※コードを溝部にはめ込んでください。



4. フロントケースを取り付けた後、センサーを感知させ吐水すれば電池交換が無事終了したことを示します。



※専用リチウム電池の接続後、水栓が使用可能になるまでに約30秒かかります。

警告

専用リチウム電池の廃棄の仕方を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあり、ケガや火災の原因となります。以下のことを守り、地域自治体が定めた方法で正しく廃棄してください。

●電線を切らないでください。



禁止

●外装のチューブを破らないでください。



禁止

●コネクターを粘着テープなどで絶縁してください。



指示実行

●日常のお手入れ

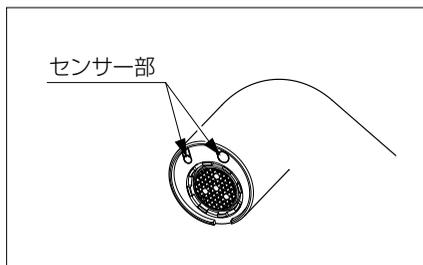
●水洗金具のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 吐水口部、機能本体部、センサーの表面の汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

※吐水口部、機能本体部、センサーの表面についた洗剤はよくふき取ってください。



注意

- 吐水口部、機能本体部、センサーの表面を傷つけたり、侵したりする恐れのあるものは使用しないでください。

- ・クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤
- ・酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、パイプ用の洗浄剤類
- ・ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシ等



※ヒビ割れや変色の原因となります。また、センサーの表面に汚れや傷がつくと、感知距離が短くなったり、感知しなくなる恐れがあります。

まちがって使用した場合は、すぐに水洗いしてください。

【自動水栓の場合】

- 1日に1回程度は吐水させてください。

※長期間使用しないと弁が固着し吐水しなくなる恐れがあります。

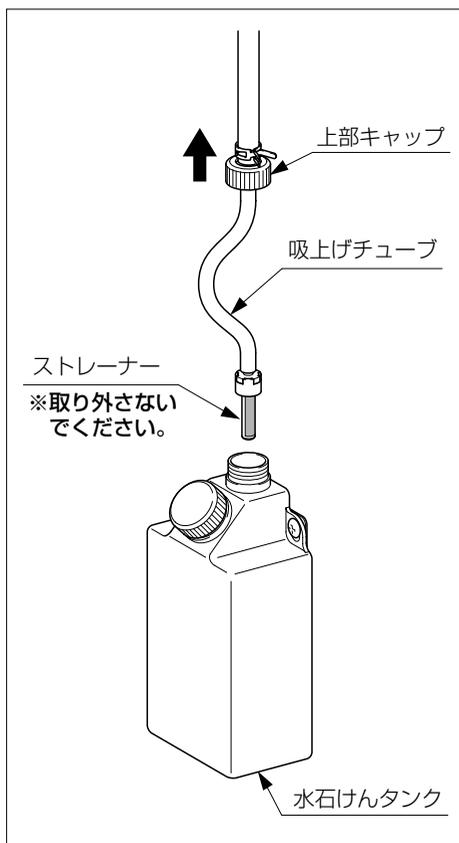
●水石けんタンクのお手入れ

●水石けんタンクのストレーナーが詰まると吐出量が減り、十分な機能が果たせなくなります。下記の要領で、定期的な掃除を行ってください。

1. 上部キャップゆるめてください。
2. 吸上げチューブをゆっくり引き出してください。
3. 吸上げチューブ先端のストレーナーを十分に水洗いしてください。

注意

メッシュ部分は強くこすらないでください。破れの原因となります。



●排水トラップのお手入れ

手洗器の水はけが悪くなった際は、市販の排水管洗浄剤（中性または弱アルカリ性）でお手入れしてください。

※お手入れ後は洗浄剤が中に残らないよう、水で十分洗い流してください。

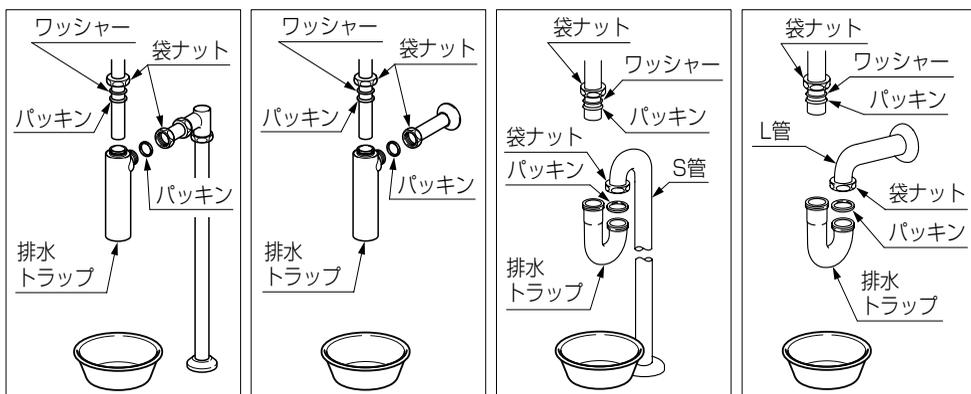
⚠ 注意

手洗器に酸性・アルカリ性の洗剤や薬品、油類を流さないでください。

※手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などを濡らす物的損害発生の原因になります。



●排水管洗浄剤を使用しても水はけが良くならない場合は、下記手順で排水トラップの掃除をしてください。



- 1、排水トラップの真下に配管内の封水を受ける容器を置きます。
- 2、袋ナットをゆるめて排水トラップを取り外し、ゴミを取り除きます。
- 3、排水管の掃除を行った後、再度ナット部をモーターレンチ等で締め付けます。

※パッキンの入れ忘れがないように注意してください。漏水の原因となります。

※袋ナットとパッキンのはめ合いは、きつめになっていますので、袋ナットをねじりながらはめ込んでください。

※袋ナットはモーターレンチ等でしっかり締め付けます。締め付けがゆるいと、漏水やトラップの脱落の恐れがあります。

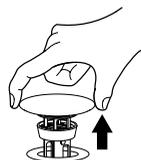
- 4、一度水栓から水を流し、排水管から水が漏れていないことを確認します。

注意

上記確認を怠ると、排水口から下水の臭いが漏れてくる場合があります。お手入れ後は必ず水を流して確認してください。

●排水口のお手入れ

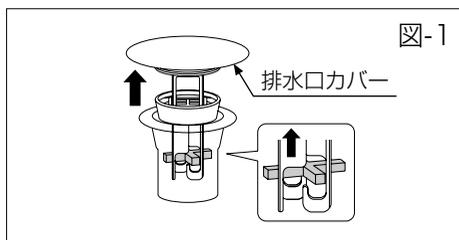
排水口などを清掃する際は、排水口カバーを上を持ち上げてください。



●取外して清掃する場合（単水栓の排水口カバー付の場合）

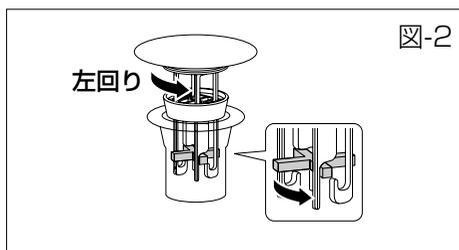
1. 排水口カバーが止まるまで引き上げ、少しだけ下に戻します。

図-1



2. 排水口カバーを左回りにゆっくと、十字にあたるまで回転させます。

図-2

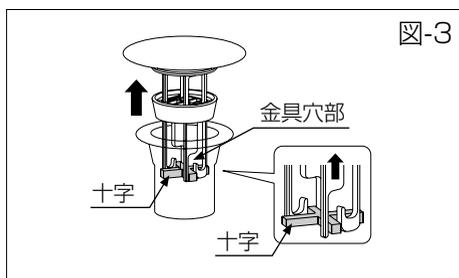


注意

排水口カバーに無理な力を加えないでください。

3. 上に引き上げると、金具穴部が排水金具の十字から抜けて外れます。

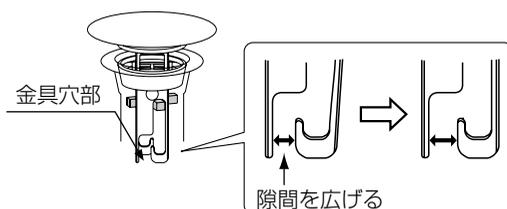
図-3



4. 清掃後、上記取付け方法で排水口カバーを取付けてください。

◎万一外しにくくなったり、外れなくなった場合は？

ラジオペンチ等を使用して金具の穴を広げてください。



●洗面器のお手入れ

品番の最初に「Y」が付いている洗面器はアクアセラミック仕様です。

(例：YL-XXXX)

ハイパーセラミック仕様の洗面器は「Y」はありません。(例：L-XXXX)

お掃除はアクアセラミック仕様同様のお手入れをしてください。

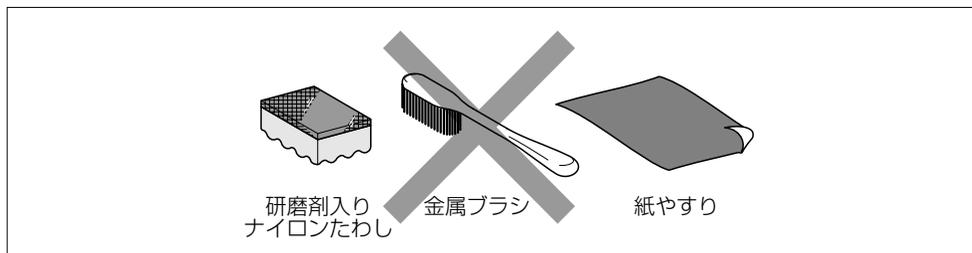
【アクアセラミック仕様の場合】

アクアセラミックは親水性が高く、鉢面に付着した汚れが落ちやすいですが、お掃除が不要になるものではありません。陶器表面に汚れが残ってしまう場合があります。定期的なお掃除をお願いします。

●次の洗剤、道具は使用しないでください。

- 強いアルカリ性の洗剤または漂白剤、フッ素系洗剤（フッ化水素、フッ化アンモニウムを含む）
※陶器表面が侵され、アクアセラミックの機能が損なわれます。
- 金属製のブラシや研磨剤入りの洗剤、お掃除道具
※陶器表面が傷つき、アクアセラミックの機能が損なわれます。
- 撥水作用や表面コート作用などがある洗剤やお掃除道具
※成分に陶器表面が覆われてしまい、アクアセラミックの効果が発揮できなくなります。

使用によって撥水してしまった場合は、メラミンスポンジや食器用中性洗剤で掃除することにより効果を復元できます。



●KILAMIC抗菌商品についての注意

- KILAMIC抗菌商品は、表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては十分な抗菌効果を発揮できません。
- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。したがって感染などが防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協会の抗菌製品規格SIAAに適合した商品です。KILAMIC抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会（SIAA）の推進によって抗菌JIS規格（JISZ2801）からISO規格（ISO22196）になりました。

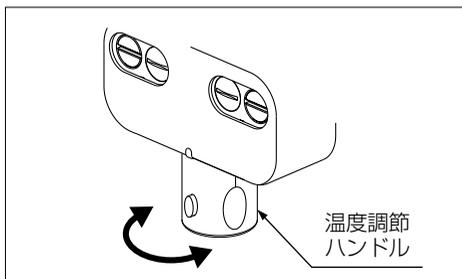
●定期的なお手入れ

【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】

●温度調節ハンドルのお手入れ（月1回以上）

サーモスタットタイプの場合、温度調節ハンドルを4、5回まわす。

※温度調節ハンドルを長時間回さずに使用すると、温調機能部に水あかが付着し、温度の調節ができなくなる恐れがあります。

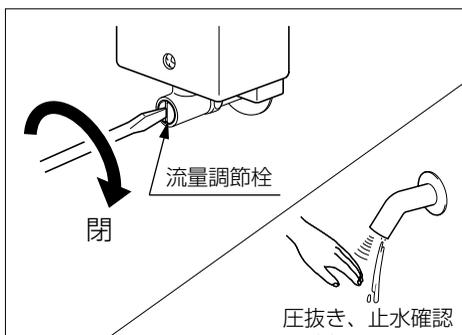


●ストレーナーの掃除（月1回以上）

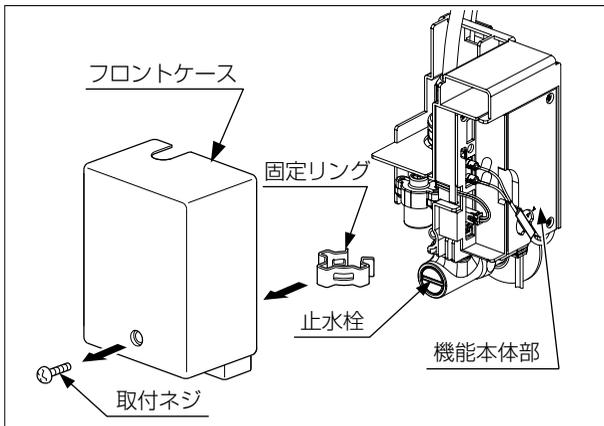
流量が少なくなった場合や吐水が乱れてきた場合は、ストレーナーのゴミ詰まりが考えられます。ときどき次の要領で掃除してください。

【自動水栓単水栓タイプの場合】

1. 止水するため、流量調節栓を時計回りいっぱいめにねじ込みます。
2. 手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きをします。



3. フロントケース、固定リングを取り外し、機能本体部を取り外します。

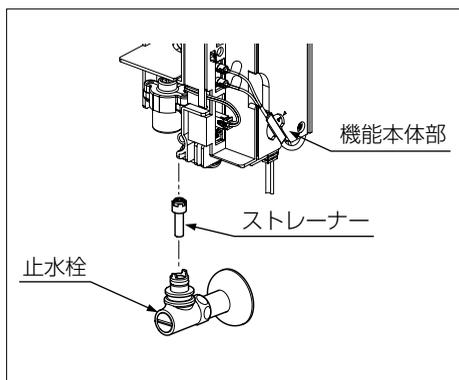


4. 止水栓の中に収まっているストレーナーを取り出し、ストレーナーのゴミ等を洗い流します。

注意

ストレーナー内部に定流量弁が入っている場合、定流量弁を紛失しないように注意してください。

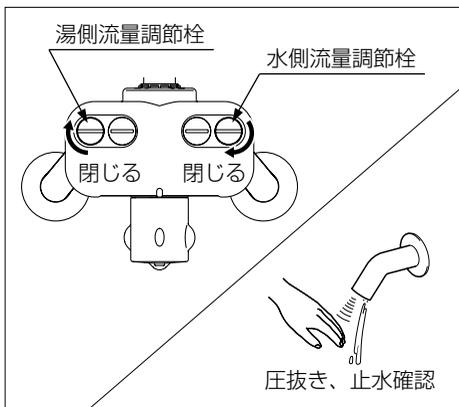
※定流量弁を紛失してしまうと流量の調節を行う必要があります。



5. 取付けは逆の手順で行い、流量調節栓を元に戻します。
定流量弁を取り外してある場合は、流量調節栓にて適正流量に調節してください。（流量の調節を行う場合、詳細は「流量の調節」の項（P.9、P.10）を参照してください）

【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】

1. 湯側、水側の流量調節栓を時計回りいっぱいめにねじ込みます。
2. 手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きをします。

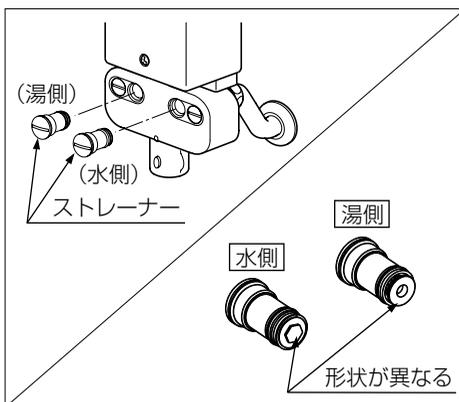


3. 大型のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を洗い流します。

注意

ストレーナーは湯側・水側で異なります。間違えないように取り付けてください。

※湯側・水側を逆に取り付けると吐水不良の原因になります。



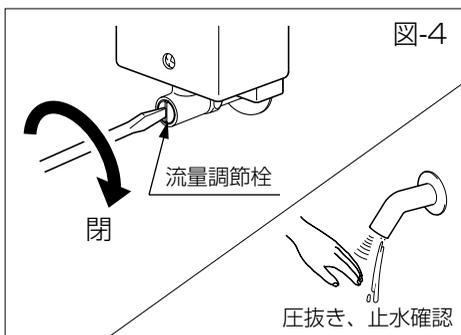
4. 取付けは逆の手順で行い、流量調節栓を元に戻します。定流量弁を取り外してある場合は、流量調節栓にて適正流量に調節してください。（流量の調節を行う場合、詳細は「流量の調節」の項（P.9、P.10）を参照してください。）

●泡沫口の掃除

【自動水栓の場合】

流量が少なくなった場合や吐水が乱れてきた場合に、ストレーナーの掃除（P.21、P.22参照）を行っても解消されない場合は泡沫口のゴミ詰まりが考えられます。次の要領で掃除してください。

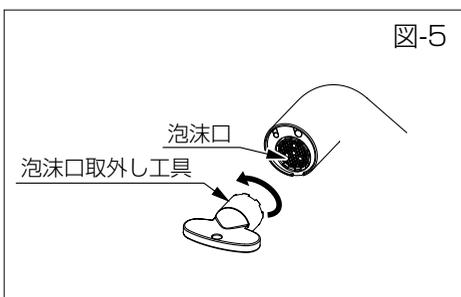
1. 流量調節栓を時計回りいっぱいねじ込み止水します。図-4 手を差し出し、センサーを感知させ、圧抜き、止水確認をします。 図-4



2. 排水口に部品を落とす恐れがあるため、泡沫口を取り外す前に排水口を洗面器やタオルで覆ってください。

3. 付属の泡沫口取り外し工具で泡沫口を回して取り外し、泡沫口を水で洗って掃除します。

図-5

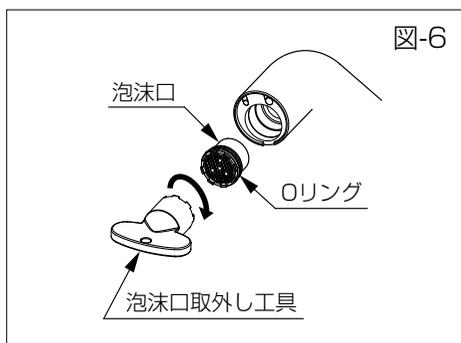


注意

泡沫口のリングを傷つけないように注意してください。

※漏水の原因になります。

4. 付属の泡沫口取外し工具を回して、止まるところまで泡沫口をねじ込みます。 図-6
5. 流量調節栓を元に戻します。（流量の調節P.9参照）



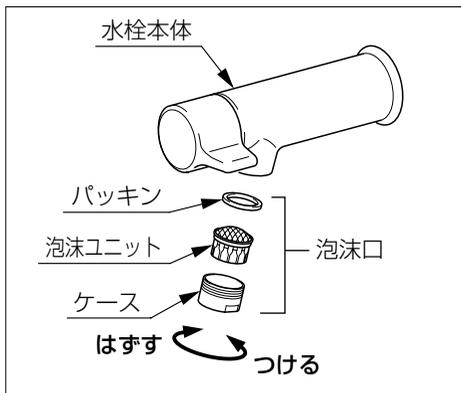
確認

通水時に必ず水漏れがないことを確認してください。

【ハンドル水栓の場合】

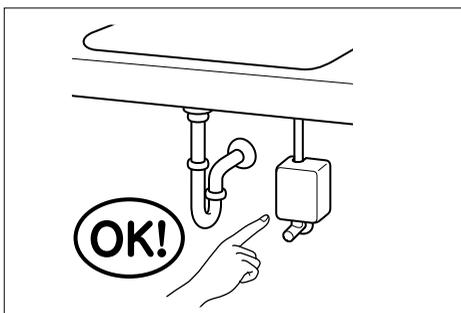
- 吐水口にゴミ等が詰まると吐水量が少なくなります。
スパナ等の工具でケースをゆるめ、泡沫ユニットを取り外し、掃除してください。

※排水口に部品を落とす恐れがあるため、泡沫口を取り外す前に排水口を洗面器やタオルで覆ってください。



●水まわりの水漏れ（年2回以上）

- 水まわりの水漏れがないか点検してください。
- 見えない部分は特に注意が必要です。
※劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

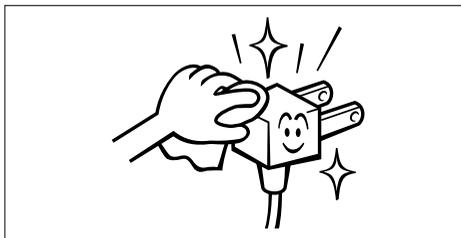


水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。

【自動水栓100V式の場合】

●電源プラグの掃除（月1回以上）

- 電源プラグを抜き、乾いた布でホコリなどを取り除いてください。
- ※電源プラグにホコリなどがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



●定期的な部品交換のお願い

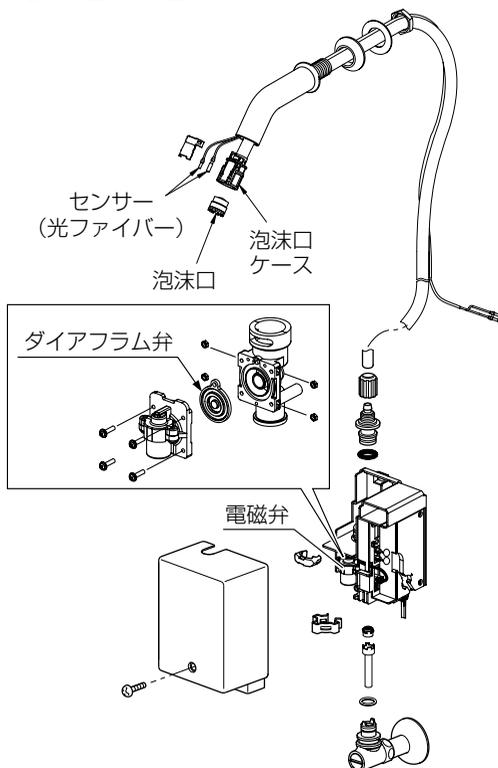
●摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）

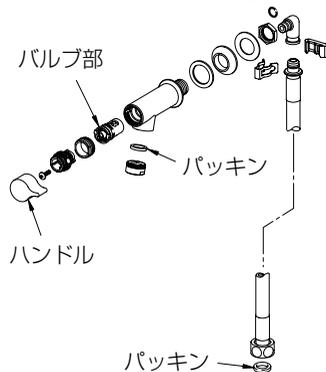
例) 逆止弁、ダイヤフラム弁、温調カートリッジ、ハンドル、バルブ部、電装品（電磁弁、センサーなど）、パッキンなど

- 部品の交換については、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

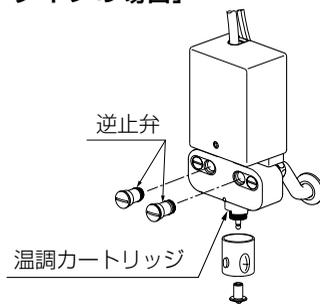
【自動水栓単水栓タイプの場合】



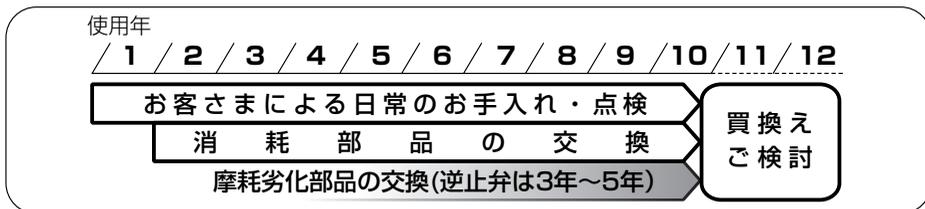
【ハンドル水栓の場合】



【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】



●定期的な点検・部品交換のめやす



●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に、下記の項目をご確認ください。

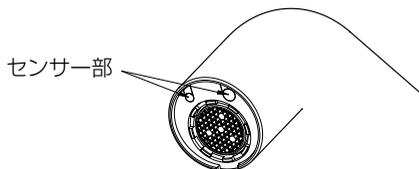
故障の状況	確認内容	処置方法	参照項目
吐水しない	流量調節栓は開いていますか？	流量調節栓を開く。	流量の調節 (P.9)
	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？【自動水栓100V式の場合】	コンセントに電源プラグを差し込む。	—
	断水中ではありませんか？	回復するまでお待ちください。	—
	停電中ではありませんか？【自動水栓100V式の場合】	回復するまでお待ちください。	—
	ストレーナーや泡沫口にゴミ等が付着していませんか？	ゴミ等を除去する。	ストレーナー・泡沫口の掃除 (P.21~P.24)
	センサー表面が汚れていませんか？【自動水栓の場合】	汚れをふき取る	日常のお手入れ (P.16)
	光ファイバーがコネクターにしっかりと差し込まれていますか？【自動水栓の場合】	光ファイバーをコネクターに差し込む。	—
	レバーハンドルは閉じていませんか？【ハンドル水栓の場合】	レバーハンドルを開ける。	—
	専用リチウム電池が正しくセットされていますか？【自動水栓アクエナジー式の場合】	正しくセットする。	専用リチウム電池の交換について (P.13~P.15)
	上記の箇所を確認しても吐水しない場合は専用リチウム電池の寿命が考えられます。【自動水栓アクエナジー式の場合】	新しい電池に交換する。	専用リチウム電池の交換について (P.13~P.15)
上記の箇所を確認しても吐水しない場合は、流量調節栓を閉じて、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。			
泡沫口根元から水が漏れる	泡沫口がしっかり締め込まれていますか？	泡沫口をしっかり締め込む。	—
流量が少ない	流量調節栓を全開にしていますか？【自動水栓の場合】	流量調節栓を全開にする。	流量の調節 (P.9)
	流量調節栓を絞らずぎていませんか？【ハンドル水栓の場合】	流量を調節する。	流量の調節 (P.9)
	ストレーナーや泡沫口にゴミ等が付着していませんか？	ゴミ等を除去する。	ストレーナー・泡沫口の掃除 (P.21~P.24)
	水圧が低くないですか？【自動水栓の場合】	定流量弁を取り外して流量調節栓にて流量の調節を行う。	流量の調節 (P.9)
	減圧弁付きの電気温水器と組み合わせていませんか？【自動水栓の場合】	—	—
レバーハンドルを絞らずぎていませんか？【ハンドル水栓の場合】	レバーハンドルを開ける	—	—
流量が多い	定流量弁が取り外されていませんか？【自動水栓の場合】	定流量弁を正しくセットする。	流量の調節 (P.9)
	低圧の現場や電気温水器との組み合わせの場合、定流量弁取外し後、流量を調節しましたか？	流量を調節する。	流量の調節 (P.9)

故障の状況	確認内容	処置方法	参照項目
高温しか出ない 【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】	水側の流量調節栓は十分開いていますか？	流量調節栓を全開にする。	流量の調節 (P.10)
低温しか出ない 【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】	給湯温度は希望吐水温度より10℃以上高くなっていますか？	10℃以上でなければ給湯温度の調節をする。	—
	湯側の流量調節栓は十分開いていますか？	流量調節栓を全開にする。	流量の調節 (P.10)
温度調節が きかない 【自動水栓サーモスタット付タイプの場合】	流量調節栓は湯、水側ともに、十分に開いていますか？	流量調節栓を全開にする。	流量の調節 (P.10)
	ストレーナーや泡沫口にゴミ等が付着していませんか？	ゴミ等を除去する。	ストレーナー・泡沫口の掃除 (P.21～P.23)
止水しない (勝手に吐水する) 【自動水栓の場合】	センサーの前に障害物はありませんか？	障害物を取り除く。	—
	センサー表面が汚れていませんか？	汚れを拭き取る。	日常のお手入れ (P.16)
	取付可能洗面器以外を組み合わせていませんか？	取付可能洗面器を組み合わせる。	施工説明書
	センサー表面に水滴が付着していませんか？	水滴を拭き取る。	日常のお手入れ (P.16)
上記の箇所を確認しても止水しない場合は、流量調節栓を閉じて、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。			
吐水が乱れる	泡沫口が汚れていませんか？	泡沫口の汚れを取り除く。	泡沫口の掃除 (P.23, P.24)
吐水口から ポタポタ 水が落ちる	施工時に配管内のゴミを流しましたか？	ストレーナー・泡沫口の掃除を行う。 また定流量弁を取り外し、大流量で吐水を行い、水栓内の細かいゴミを洗い流す。	ストレーナー・泡沫口の掃除 (P.21～P.24)
水石けんが出ない。 又は吐出量が 少ない。 【水石けん付の 場合】	水石けんが無くなっていませんか？	水石けんを補給する。	水石けんの補給方法 (P.12)
	指定水石けん以外の水石けんを使用していますか？	指定の水石けんを使用する。	水石けんの補給方法 (P.12)
	原液の水石けんを使っていませんか？	推奨希釈倍率で使用する。	水石けんの補給方法 (P.12)
	水石けんを薄めすぎていませんか？	推奨希釈倍率で使用する。	水石けんの補給方法 (P.12)
	異物が混入した水で水石けんを希釈していませんか？	異物が混入していない水で希釈する。	水石けんの補給方法 (P.12)
	水石けんタンク内に異物が混入していませんか？	タンク内を水洗いして、新しい水石けんを補給する。	水石けんの補給方法 (P.12)
	補給に使用する容器をシンナー等の有機溶剤、洗剤の空き容器などを使用していますか？	市販の補給タンクやペットボトルなどのきれいな容器を使用する。	水石けんの補給方法 (P.12)
	水石けん容器に水石けんの原液を先に入れ、後から水を補給していませんか？	あらかじめ希釈した水石けんを補給する。	水石けんの補給方法 (P.12)
	ストレーナーにゴミが詰まっていますか？	水洗いして取除く。	ストレーナーの清掃 (P.17)
ストレーナーの破れはありませんか？	交換する。	—	

上記の処置をしても直らないときは、お取付店（または販売店）、またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

●水汲み時に吐水が止まってしまう

コップ等で水汲み時水面が上がると感知しなくなることがあります。センサー部にコップ等の一部を近づけることで感知しやすくなります。



●感知物の色によって感知距離が異なる

赤色の可視光（目で見ることのできる光）を使用しているため、その特性上、青色、緑色、黒色に近いものに対しては感知距離が短くなります。また、可視光を透過してしまうガラス等でできているものは感知しません。

●光ファイバーの傷つき、折れによる故障

光ファイバー[※]が傷ついたり、折れたりすると、感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。

また、光ファイバーの傷つきや折れによる故障は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。

※：光ファイバーは、プラスチックの細い繊維でできている光を通すケーブルです。

●水栓仕様

項目	仕 様		
	自動水栓タイプ		ハンドル水栓タイプ
	AC100V式	アクエナジー式	
使用圧力範囲	0.05（流動圧）～0.75MPa（静水圧）		
使用水	水道水および飲用可能な井戸水 ※1		
使用環境温度範囲	0～40℃	-20～40℃ (0℃以下は水を抜いた状態)	
使用環境湿度範囲	90%RH以下	—	
適正流量範囲	2.5L/分（定流量弁内蔵）	—	
給水（給湯接続）	単水栓タイプの場合：R 1/2 サーモスタット付タイプの場合：PJ 1/2		PJ 1/2
電源	主電源	AC100V (50Hz/60Hz)	最大DC5V 【電源回路】
	バックアップ	—	最大DC3V 【リチウム電池】
消費電力	常時0.7W以下、 作動時3W以下	常時0.1W以下、 作動時2W以下	—
感知方式	光量式可視光センサー		—
感知距離	約105mm		—
感知エリア幅	約60mm以下 (センサー窓より60mmの位置)		—

※1. 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

●アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項（P.26、P27）を参照して確認してください。

⚠ 注 意

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガしたり、故障、破損の恐れがあります。



2. 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- “技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 |
| 3. 品番（商品に表示、「各部の名称」の項(P.2)参照） | 4. ご購入日 |
| 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 訪問ご希望日 |

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低10年保有しています。**この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。**保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

取扱店またはお客さま相談センター（保証書に記載のフリーダイヤルをご利用ください）へお問い合わせください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：	ハイバックガード洗面器		(品番：)	
保証期間	取付日より	2 年	取付日	年	月 日
お客さま	おなまえ	無効			
	おところ				
	おでんわ				
	()	—	TEL ()	—	

お客さまへ

- ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
 - 用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極めて高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事による不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - お客さまが取扱説明書の記載内容に従わない水石けんを使用したことにより起こりうる故障等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現像(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
 - 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障および損傷
 - 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品(パッキン)類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷
 - 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷(※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう)
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
- 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修性能部品の保有期間は、製造打切後10ヶ年です。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは、
お客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用
できない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

受付時間：平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

修理のご依頼は(本文の「アフターサービスについて」をお読みください)
お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間：9:00～19:00 (365日受付)

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。